

梅花児童文学・絵本センター 2024 年度総会記録

日時：2024 年 5 月 29 日 (水) 16:20~17:03

会場：梅花女子大学山草館D棟 402 教室

議長：香曾我部秀幸 書記：高田太

出席／議決権行使者：8 名

1. 開会の辞

香曾我部センター長により開会の辞が述べられた。なお、「2024 年度梅花児童文学・絵本センター第 8 回定期総会議案・報告書」(以下、「資料」と略記)の記載に誤りがあったので、3 段落目を以下の通り訂正するものとした。

「今後も梅花の児童文学の伝統の燈火をともし続けるために、当センターではまことに微力ではありますが、活動を継続して参りたいと願っております。」(下線部を追加する)

2. 2023 年度活動報告に関する件

資料の活動報告に対して、全会一致 (8 名) の承認が得られた。

3. 2023 年度会計決算および会計監査報告に関する件

資料の会計報告に対して、全会一致 (8 名) の承認が得られた。

4. 2024 年度活動計画・予算案に関する件

香曾我センター長が資料の活動計画について説明した後、センター会員の活動予定として、梅花女子大学の図書館に所蔵されている貴重図書及び貴重資料を学外に一般公開することで、梅花女子大学の研究機関としての価値を一般に知らしめたいことから、貴重図書および資料の調査研究をして、毎年資料の展示会をしてはどうかと考えているとの発言があった。また、これについては学長の同意も得られているので、2025 年の 2 月を目途に第 1 回目を行いたく、センターからも当該活動の援助を得ることができればと考えているとのことであった。これに対して、議場から貴重図書及び資料については「デジタル化・アーカイブ化を考えるとはないのか」との質問があり、センター長はこれに対して「かつて、ちりめん本のアーカイブがあり公開されていたが、現在、なぜか公開されない状態になっている。その理由は不明であるが、ただし長い目で見てアーカイブとしての公開を考えるとできると思う」と応答した。その後、当該活動の費用をどの予算項目から支出するかについての議論があり、「会員活動費」から支出するものとした。これに加えて、会員活動費から、かつてオープンキャンパス等広報活動のためにこども学科／こども教育学科が卒業生から借り受けていた絵本原画を卒業生に返却するために要する送料、10,000 円程度を支出することを加えて、予算案共々議場に承認を求めたところ、全会一致 (8 名) の承認が得られた。

5. 委員の選任に関する件

資料に記載された委員に、卒業生委員として大久保桃子さんを加えることとして、全会一致 (8 名) の

承認が得られた。

6. 今後の活動に関する件

資料に記載された活動方針について、全会一致（8名）の承認が得られた。

7. その他

高田幹事から、大学におけるセンターの対応窓口が問題になっている旨、説明があり、当該窓口（住所並びに電話番号）をC棟206の高田研究室とすること、また、メールアドレスについては、大学から付与されているセンターのアドレスを用いるよう試みることの提案がなされた。審議の結果、全会一致（8名）の承認が得られた。

以 上

梅花児童文学・絵本センター

議長：香曾我部秀幸

書記：高田太